

第6次白老町総合計画審議会（第5回）会議要旨

日時：令和元年10月31日（木）15:30～17:00

場所：白老町役場 第1委員会室

出席者：岡田委員長、中野副委員長、北平委員、野瀬委員、倉地委員、牧野委員、宇津宮委員、宇佐見委員
桑田委員 計9名

欠席者：笠井委員 計1名

事務局：【企画課】 工藤課長、温井主幹、安藤主任、金子主事、吉井主事 計5名

1. 開会

2. 報告

（1）まちの将来像の選定について

○事務局から説明（資料1）

質疑なし

3. 議事

（1）将来目標人口の設定について

○事務局から説明（資料2、資料4）

【宇都宮委員】提示された人口推計をみると今後の加速度的な人口減少が気がりである

（2）総論（案）の検討について

○事務局から説明（資料3）

各委員からの意見等（別紙1参照）

※意見等については事務局にて検討し、反映させていく。

（3）基本構想（案）の検討について

○事務局から説明（資料4）

各委員からの意見等（別紙2参照）

※意見等については事務局にて検討し、反映していく。

4. その他

今後のスケジュールについて

11月中旬

5. 閉会

別紙1（総論（案）の検討について）

【桑田委員】

- ・ 14ページのまちづくりの重点課題について、「人口減少の抑制」「地域経済の活性化」としているが、絞りすぎではないか。町民参加プロセス等で様々な課題が上げられているため、もう少し項目を増やしてもいいのではないか。
- ・ 13ページの小中学生まちづくり標語の2段目、「つくろうよう」ではなく「つくろうよ」ではないか。

【宇都宮委員】

- ・ 福祉や教育が充実しているから住みたいと思う人もいる。これからの時代は経済だけでなくそういった側面も重要となってくる。

【北平委員】

- ・ 6ページのまちを取り巻く状況（1）時代の潮流について、内容が日本全体の潮流であるため、項目名を改めるなど、その旨を記載した方がいいと思う。
- ・ 9ページの（2）まちの概要の②人口・世帯の状況について、この8年間、少子化が特に進んでおり、小中学校が統廃合されている現状があるため、子どもの人口も追加した方がいいのではないか。
- ・ 12ページの（3）町民の声について、意見が多く上げられたものを記載しているが、少数意見の中にも重要なものはあるため記載してはどうか。
- ・ 14ページの人口減少の抑制に対して、人づくりといったソフトの面が重要ではないか。

【岡田委員長】

- ・ 2ページの第1段落3行目「現在は、平成23年9月に策定した第5次白老町総合計画に基づき～事業を推進しています。」と記載されているが、第6次総合計画が策定される頃には第5次総合計画は終了しているため、この記載方法は適当ではない。
- ・ 2ページの第5段落2行目「審議会をはじめ町民のみなさんと～策定します。」と記載されているが、「審議会」は削除の方がよい。
- ・ 3ページの（1）計画の構成 基本計画について、「町長の任期との整合性を考慮して～見直しを行います。」と記載されているが、総合計画は町長公約よりも上位であるため、この表現は適さないのではないか。
- ・ 8ページの第3段落3行目「まちの開基は～」と記載されているが、現在、他の市町村の総合計画では「まちの開基」について記載がないため、削除の方がよい。「町政施行開始は～」といった表現の方がよいと思う。

【中野副委員長】

- ・ 8ページの第2段落2行目で記載されているように、クッタラ湖や白老川の水質は全国でもトップであるが、何もせずにそうなったのではなく、様々な方々の努力による結果であることを知ってほしい。
- ・ クッタラ湖は漢字表記ではないか。
- ・ 白老の自然はクッタラ湖、ホロホロ湿原、ヨコスト湿原が環境省の定める日本の重要湿地500に登録されている。同じく、環境省では生物多様性保存上重要な里地・里山として、萩の里自然公園、ウヨロ川周辺を指定している。

別紙2（基本構想（案）の検討について）

【宇都宮委員】

- ・ 4ページの基本姿勢①協働によるまちづくり3行目「対等な立場で～」と記載されているが、町民と行政では役割も異なり、対等という表現に違和感があるため、あえて記載する必要はないのではないか。

【桑田委員】

- ・ 4ページの基本姿勢①協働によるまちづくりについて、協働のまちづくりを未だに理解していない人は多い。理解しやすい書き方をしてほしい。

【北平委員】

- ・ 2ページの将来像の説明文にある「みんなで行動し」を別の言葉にできないか。
- ・ 5ページの基本方針2「障がい者（児）が自立して暮らせるまちをつくる」は突き放すような印象を受けるため、別の表現にできないか。

【牧野委員】

- ・ 4ページの基本姿勢②持続可能な行政運営によるまちづくり4行目「持続可能な行政運営を進めていきます。」と記載されているが、「持続可能」という視点は「行政運営」に限定したものではないことから、「行政運営」を削除した方がよいのではないか。
- ・ 5ページの基本方針1「～人と自然が共生した、安心して暮らせる快適環境のまち～」と記載されているが、「快適環境」を整備するにはお金がかかってしまう。今あるものをどう有効利用するのかを考えた方がいいのではないか。

【中野副委員長】

- ・ 4ページの基本目標②幸福感の醸成2行目「心の豊かさを重視する方向へ変化しております。」と記載されているが、そう言い切れるか検討した方がよい。
- ・ 5ページの基本方針1「環境にやさしいまちをつくる」と記載されているが、「環境」という言葉は幅が広いので、「自然」に限ったものであるならば「自然」という表現にした方がよい。

【宇佐見委員】

- ・ 4ページの基本目標①共生共創の実現2行目「異なる民族」と記載されているが、「様々な人々」のような表現に言い換えることはできないか。

【岡田委員長】

- ・ 「民族」という言葉が所々に見受けられるが、「民族」とは仲間意識がある者たちの集まりを指すものである。「異なる民族」という表記は、「仲間ではない人達」という印象を与えかねないため、「民族」という表現は控えた方がよい。
- ・ 未来に向かって頑張っていこうというのは伝わってくるが、これまでの経緯、反省も重要である。PDCAサイクルの特にCheck・Actionをしっかりと行わなければならない。
- ・ 全体的に文章の語尾に統一感がないため、書き方を統一した方がよい。